

測量・調査・設計業務委託共通仕様書

別添資料

(VII. 下水道有資格者一覧表 令和 6年 4月更新)

I . 設計打合せ・記録簿（標準）	1
II . 設計報告書要領	2
III . 設計概要書	4
IV . 設計図面の作成要領（標準）	8
V . 数量計算要領（標準）	11
VI . 技術者等の経験年数等について（参考）	34
VII . 下水道設計有資格者一覧表	35
VIII . 港湾及び港湾海岸に係る技術者資格表測量	36
IX . 身分証明書交付願及び身分証明書様式（参考）	37

I. 設計打合せ・記録簿(標準)

第 回					追 番	—	頁		
発注者 印	監督員	係 長	課 長		受注者 印	担 当 者		管 理 者 技 術 者	照 査 技 術 者
部 課 名					受注者				
件 名						整 理 番 号			
出 席 者	発注者側					日 時	年 月 日 ()		
						場 所			
	受注者側					打 合 せ 式 方	会 議 ・ 電 話		

Ⅱ. 設計報告書要領

1. 設計報告書

- 1) 設計報告書の製本は別図を標準とし表紙には設計業務等の標題を印刷するものとする。
- 2) 設計計算書、数量計算書、図面等は必要に応じて箱詰め(別様)とする。
- 3) 設計報告書の大きさは A-4 版を標準とする。
- 4) 図面袋又は箱の表面には、図面の内容を次の様式により記入又は添付する。

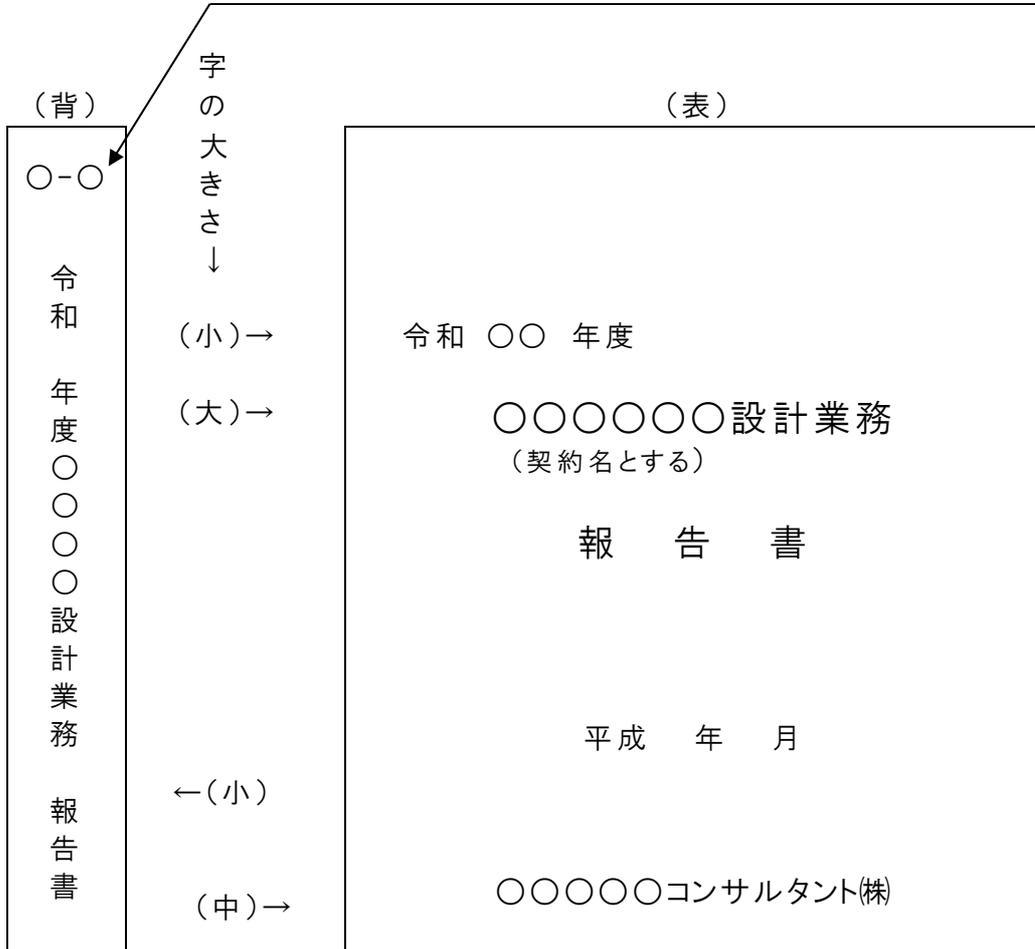
工 事 名		
図 面 名	図 面 番 号	葉 数
位 置 図	1	1
平 面 図	2	1
○ ○ 図	3~5	3
○ ○ 図	6~8	3
○ ○ 図	9	1
○ ○ 図	10	1
○ ○ 図	11	1
○ ○ 図	12	1
○ ○ 図		

2. 注意事項

- (1) 設計に用いる記号は道路橋示方書にもとづくものとする。
- (2) 設計条件は応力計算の前に整理し明記しなければならない。
- (3) 計算に用いる公式、図表などは、その出典を加えるものとする。
- (4) 曲げモーメント図、せん断力図、たわみ図は原則として添付すること。
- (5) 設計断面と作用荷重、許容応力度、実応力度の対照一覧表を作成すること。
- (6) 電子計算機を利用した場合、設計条件(フローチャート)を示し、入力条件、出力データを見易く明記すること、また、出力データを他の計算に用いる場合はその数値の出典を明示すること。

設計報告書（標準）

地質調査の場合のみ、土質調査番号を明記する。（注）



(注): 監督員から土質調査番号を指示された場合に明記する。

Ⅲ. 設計概要書

※設計 第 1211 条関係

1. 設計概要書は、監督員と協議のうえ作成するものとする。道路設計の場合の設計概要書の様式例を参考として下記に掲載する。

(例) 設計概要書

都道府県名				箇所名 (工区名)									
路線名				計画延長	m	工種		計画工期	H. ~H.				
事業費		全体C= 百万円		内改良		内橋梁		内舗装		(内用地費)			
路線全延長				計画区間の 起 終 点									
路線の 整備 状況	区分	実延長 (km)	改良率 (5.5m 以上)		舗装率(高級)		整備率		計画交通量配分図				
			延長	率(%)	延長	率(%)	延長	率(%)					
	市全体												
	路線 区間												
新規計画の理由													
関連事業等													
現況・計画		現 況						計 画					
延長 内トンネル 内橋梁		箇所 橋		m m		m m		箇所 橋		m m			
構造規格		種 級						種 級					
幅員構成													
設計速度		km/h						km/h					
交通量		交通量T= 台/日(大型車 台/日) 交通容量 台/日 混雑度(年) 自転車数(年) 歩行者数(年) 区間事故率(年) 信号機数						交通量T= 台/日(大型車 台/日) (要因・伸び率等) バイパス計画の場合の 現道交通量T= 台/日					
建築限界		m()						4.5m+ m					
曲線半径		最小 15m以下 15~30m 30~50m		m 箇所 箇所 箇所 箇所		50~100m 箇所		基準(最小) m(特例) m		設計(最小) m 箇所			
縦断勾配		最急勾配 5%以上 6%以上 7%以上		% m m 8%以上 m 9%以上 m 10%以上		m		基準(最急) %(特例) %		設計(最急) % m			
登坂車線													
舗装													
鉄道交差													
退避所													
都市計画決定状況		有・無		決定年月日		構造形式		幅員					

(例)

設 計 の 概 要			
調 査 区 間 及 び 路 線 の 性 格			
調 査 経 緯			
ル ー ト の 選 定 条 件			
計 画 区 間 の 事 故 発 生 状 況			
計 画 区 間 の 災 害 発 生 状 況			
期 待 さ れ る 整 備 効 果			
有 料 道 路 事 業 と し て の 可 能 性			
土 地 利 用 と 整 合 性 及 び 環 境 へ の 対 応			
道 路 規 格 の 決 定 理 由	(第 種 級)		
設 計 速 度 の 決 定 理 由	km/h		
バ イ バ ス 部 の 旧 道 処 理 方 針			
関 係 市 区 町 村 の 概 要	現 況	①人口 人 ②世帯数 世帯 ③面積 km ² ④人口密度 人/km ² ⑤協力体制	計 画 ①人口 人 ②世帯数 世帯 ③面積 km ² ④人口密度 人/km ² ⑤協力体制
地 元 の 動 向			
そ の 他			

(例)

(協議終了後、本命ルートのみ作成)

設 計 の 概 要								
(平面概要) 箇所数のポンチ絵程度								
(縦断図)								
(事業計画)								
①区間別の 年次計画								
②年度別 投資計画								
	年 度	H.						合 計
	事業費							
(標準横断図)					道路幅員の 選定理由 ()m			

(例)

ル ー ト 比 較 表 () 北 九 州 市

計 画 区 間 と 路 線 の 性 格				
比 較 ル ー ト		Aルート	Bルート	Cルート
ル ー ト の 選 定 条 件				
ル ー ト の 概 要	起 点			
	終 点			
	通 過 点			
延 長 内 ト ン ネ ル 内 橋 梁	km 箇所 m 橋 m	km 箇所 m 橋 m	km 箇所 m 橋 m	
構 造 規 格		種 級	種 級	種 級
幅 員 構 成		m(m)	m(m)	m(m)
設 計 速 度		km/h	km/h	km/h
線 形 の 概 要	平 面	最小半径R= m	最小半径R= m	最小半径R= m
	縦 断	最急勾配I= %	最急勾配I= %	最急勾配I= %
事 業 費	全 体	百万円	百万円	百万円
	内 改 良	百万円	百万円	百万円
	内 橋 梁	百万円	百万円	百万円
	内 舗 装	百万円	百万円	百万円
主 な 構 造 物				
土 工 規 模 と 地 質 の 状 況		最大切土高= m 最大盛土高= m	最大切土高= m 最大盛土高= m	最大切土高= m 最大盛土高= m
土 地 利 用 と の 整 合 性 及 び 環 境 へ の 対 応				
他 事 業 関 連				
施 工 性 及 び 暫 定 施 工 の 考 え 方				
総 合 評 価				
結 論				

IV. 設計図面の作成要領（標準）

※設計 第 1211 条関係

・一般土木の場合（下水道管渠を除く）

1. 設計書添付図面は「CAD製図基準(案)」により作成する。但し、設計書添付図面がCAD製図基準に準拠していない場合は本作成要領によるものとする。

2. 図面の種類

図面の種類は次の通りとし、次の順序で追番号をつけて整理する。

- 1)位置図
- 2)平面図
- 3)一般図
- 4)縦断面図
- 5)標準横断面図
- 6)横断面図
- 7)構造図(詳細図を含む)
- 8)その他

3. 図面の大きさ

図面の大きさの標準は下表に示すのを原則とする。

番 号	寸 法 mm	番 号	寸 法 mm
A-0	841×1,189	A-3	297×420
A-1	594×841	A-4	210×297
A-2	420×594		

- 1)設計図面の部数が著しく多くなる場合は、マイクロ写真及び写真によるタイプ、オフセット(PTO)印刷により図面をA-3版程度に縮小することができる。
- 2)必要に応じ長手方向に延長することができる。

4. 図面の正位

図面の正位は、その長手方向においた位置を正位とする。

5. 輪郭と余白

図面には輪郭を付け、輪郭外の余白はA-0、A-1では30mm、A-2、A-4では20mmとする。輪郭は一本の太い実線とし、線の太さはA-0、A-1は1.4mm、その他は1.0mmとする。

6. 図面の折りたたみ

図面の折りたたみの大きさは横210mm、縦297mmを原則とするが、監督員の指示に従うものとする。

7. 縮 尺

縮尺は設計図書の成果品一覧に示す縮尺を原則とする。
なお、特別な場合は、監督員の指示に従うものとする。

8. 図面の標題

- 1) 標題の寸法及び様式は下記を標準とし、図面の左上隅を原則とするが、監督員の指示に従うものとする。
- 2) 縮尺が図面内に種々ある場合は、それぞれの図ごとに縮尺を記入する。

縦 75 mm程度
横 100 mm程度

北 九 州 市			
工事名称	令和 年度		
	工 事		
工事箇所	区 地内		
図面名称		縮 尺	
図面番号	全 葉中 号		
設計担当課	局 部 課		

- 3) 図面名で横断面図等の場合はNo. を記入する。
(例)横断面図 No. 5～No. 12

9. 設計図面作図要領

設計図面記載については、次の事項に注意して係るものとする。

1) 平 面 図

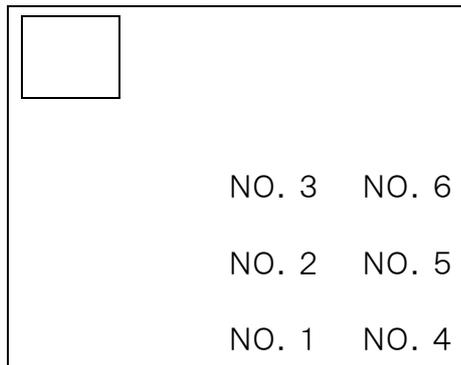
- イ. 測点の配列方向は、図面の左端を起点とし、右方に配列する。
- ロ. 河川の堤防、護岸等は下流を起点として上流に向かって追番号とする。
- ハ. 道路は起点から終点に向かって追番号とする。
- ニ. 海岸は、海岸名ごとの起点から終点に向かって追番号とする。
- ホ. 明示の幅は、工事施工に必要な幅に余裕をもつ幅とする。

2) 横断面図

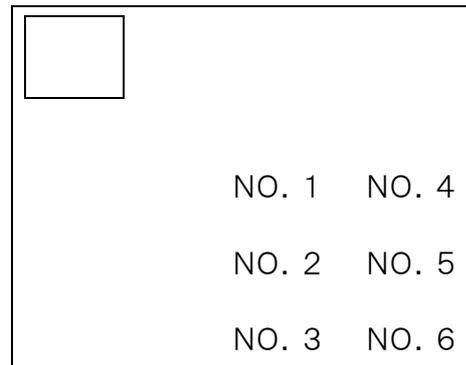
- イ. 河川、ダム、堤防、護岸等
上流から下流方向を見ること。
水制及び取付道路は起点から終点を見ること。
- ロ. 海 岸
起点から終点方向を見ること。
- ハ. 道 路
起点から終点方向を見ること。
- ニ. 砂防
下流から上流の方向を見ること

ホ. 横断面の配置は次図のとおりとする。

道路及び砂防



河川及び海岸関係



3) 縦断面図

- イ. 図面上の測定配列方向は、平面図の配列方向に合致させるものとし、かつ施工区間の前後の関係を知ることのできる若干区間を記入するものとする。
- ロ. 道路の路線図面は平面図と縦断面を一枚の図面に併記することができる。この場合、平面図は上段、縦断面は下段とする。

4) 構造詳細図

- イ. 構造図は左上に側面、左下に平面、右上に断面図をかくのを標準とする。
- ロ. 橋梁の側面図は道路の起点側を左方としてかくのを標準とする。
- ハ. 基礎の地質柱状図等の調査成果を記入するものとする。

5) 図面整理

図面は次の願序で追番号をつけて整理する。

- イ. 位置図
- ロ. 平面図
- ハ. 一般図
- ニ. 標準横断面図
- ホ. 縦断面図
- ヘ. 横断面図
- ト. 構造図(詳細図を含む)
- チ. その他

V. 数量計算要領（標準）

※設計 第 1211 条関係

1. 数量計算方法

- 1) 数量の単位については、すべて「計算法」によるものとする。
- 2) 長さ・面積・断面積等の計算は数学公式によるほか、スケールアップ、プランメーター等、平均面積(断面)法により行うものとする。ただし、スケールアップによるときは、2回以上の実測値の平均をとるものとする。また、CADソフトによる算出結果について、適宜結果の確認をした上で適用できるものとする。
- 3) 面積の計算は、数学公式によるほか、3斜誘致法、又はプランメーターによって算出するものとする。ただし、プランメーター等を使用するときは、3回以上測ったもののうち、正確と思われるもの3回の平均値とする。また、各法長が一定でない面積を計算する場合は、両辺長を平均したものにその断面間の距離を乗ずる平均面積法により算出する。なお、上記によることを原則とするが、CADソフトによる算出結果については、適宜結果の確認をした上で適用できるものとする。
- 4) 体積の計算については、数学公式によるほか、両断面積の平均数量に距離を乗じる平均断面法により算出するものとする。
- 5) 構造物の計算に使用する角度については、「分単位」までとし、円周率、法長、乗率、三角関数および弧度は、四捨五入して小数第3位までとする。
- 6) 算式計算の乗除については、記載の順序によって行い、分数は約分せず分子分母にその値を求めた後に除算を行うものとし、四捨五入により位止めするものとする。

2. 構造物の数量から控除しないもの

以下に掲げる種類の容積または面積は、原則として構造物の数量から控除しないものとする。

- 1) コンクリート中の鉄筋・鋼矢板・土留材等
- 2) コンクリート中の基礎杭頭
- 3) コンクリート中の支承座面の箱抜
- 4) 床版コンクリート中の主桁上フランジ
- 5) 鋼材中のボルト孔および隅欠き
- 6) コンクリート構造物の面取りおよび水切り
- 7) コンクリート構造物の伸縮継目の間隔および止水板
- 8) コンクリート構造物内の内径30cm以下の管類、水抜孔等
- 9) 基礎材中の径30cm以下の杭および胴木
- 10) 法沿い肩排水工、地下排水工等の容積およびこれに類似のもの
- 11) コンクリート構造物中のモルタル注入孔および埋込金具等の容積
- 12) 舗装工、床版工中の1箇所1.0m²未満の建造物
- 13) 盛土中で現地盤線以上の断面積が1.0m²未満の建造物
- 14) ガードレール、ガードパイプ等防護柵の支柱の箱抜き
- 15) その他、面積または体積が前項に示す値以下で、全体数量に及ぼす影響が僅少なもののただし、現場打杭および杭頭部の結合方式がA方法の場合のフーチングコンクリートについては、控除するものとする。
- 16) 上記1)～15)に準ずるものと判断されるもの

※その他、各局の運用等がある場合は、この限りではない。

3. 構造物の数量に加算しないもの

施工時に数量を算出する必要がある場合、以下に掲げる内容については構造物の数量に加算しないものとする。

- 1) 品質・形状等が不相当と発注者が認め、解体・除去を命じた構造物
- 2) 型枠の余裕面積
- 3) コンクリート、鉄筋等の材料の損失量
- 4) 鉄筋の組立・据付に使用したタイクリップ等
- 5) 仮締切、支保、足場工等における仮設基礎コンクリート等
- 6) 上記1)～5)に準ずるものと判断されるもの

4. 数量計算の単位および数位

数量計算に用いる単位および数位は、次表－1～3によるものとする。なお、表中の数位以下の数量については、有効数位1位(有効数位2位を四捨五入)を用いるものとし、また、表にないものについては、表－1に準じて考えるものとする。なお、有効数字が明確なもの(計算過程で各数字が当該数位まで有効であると認められるもの)については、表によらず、適宜結果の確認をした上で適用できるものとする。

表-1 数量計算の単位および数値一覧表

計 算 書 名	種 別	単 位	数 位	摘 要
土 工 量	距 離	m	小数位以下 1 位止	2 位を四捨五入
	幅 ・ 高さ	m	" 1 "	2 "
	断 面 積	m ²	" 1 "	2 "
	平均断面積	m ²	" 2 "	3 "
	土量(体積)	m ³	" 1 "	2 "
法 面 積	距 離	m	小数位以下 1 位止	2 位を四捨五入
	法 長	m	" 1 "	2 "
	平 均 法 長	m	" 2 "	3 "
	面 積	m ²	" 1 "	2 "
コンクリートブロック ・石積(張)面積	距 離	m	小数位以下 1 位止	2 位を四捨五入
	法 長	m	" 1 "	2 "
	平 均 法 長	m	" 2 "	3 "
	面 積	m ²	" 1 "	2 "
コンクリート・アスフ ァルト体積	幅 ・ 高さ	m	小数位以下 2 位止	3 位を四捨五入
	長 さ	m	" 2 "	3 "
	体 積	m ³	" 1 "	2 "
型 枠 面 積	幅 ・ 高さ	m	小数位以下 2 位止	3 位を四捨五入
	長 さ	m	" 2 "	3 "
	面 積	m ²	" 1 "	2 "
鉄 筋 質 量	径(φ)	mm	整 数	
	単 位 質 量	Kg/m	小数位以下 3 位・ 有効数字 3 桁	1 本当り質量は小数位以下 2 位止で 3 位を四捨五入する
	質 量	kg	整 数 位 止	1 位を四捨五入
足 場 ・ 支 保	幅 ・ 高さ	m	小数位以下 1 位止	2 位を四捨五入
	距 離	m	" 1 "	2 "
	面 積	掛 m ²	整 数 位 止	1 "
	体 積	空 m ³	"	1 "
粗 朶 沈 床 等 面 積	幅 ・ 高さ	m	小数位以下 1 位止	2 位を四捨五入
	面 積	m ²	" 1 "	2 "
舗 装 面 積	幅	m	小数位以下 2 位止	3 位を四捨五入
	距 離	m	" 1 "	2 "
	面 積	m ²	" 1 "	2 "
区 画 線	長 さ	m	小数位以下 2 位止	3 位を四捨五入
	延 長	m	" 1 "	2 "
鋼 材 質 量	幅 ・ 高さ	m	小数位以下 3 位止	4 位を四捨五入
	長 さ	m	" 3 "	4 " (鉄筋は、cm止め)
	質 量	kg	整 数 位 止	1 位を四捨五入
ボ ル ト 質 量	単 位 質 量	g/本	整 数 位 止	1 位を四捨五入
	本 数	本	整 数	
	質 量	kg	整 数 位 止	1 位を四捨五入
塗 装 面 積	幅 ・ 高さ	m	小数位以下 3 位止	4 位を四捨五入
	長 さ	m	" 3 "	4 "
	面 積	m ²	" 1 "	2 "

表-2 鋼板の質量

計算順序	計 算 方 法	結 果 の け た 数
基本質量 kg/mm/m ²	7.85 (厚さ/mm、 面積/m ² の質量)	
単位質量 kg/m ²	基本質量 (kg/mm/m ²) ×板の厚さ (mm)	有効数字4けたの数値に丸める。
面積 m ²	幅 (m) ×長さ (m)	有効数字4けたの数値に丸める。
1枚の質量 kg	単位質量 (kg) ×面積 (m ²)	有効数字3けたの数値に丸める。 ただし、100~999kgは小数第1位に、 1,000kgを越えるものはkgの整数値に に丸める。

表-3 平鋼の質量

計算順序	計 算 方 法	結 果 の け た 数
基本質量 kg/cm ² /m	0.785 (断面積1cm ² 、 長さ1mの質量)	
単位質量 kg/m	基本質量 (kg/cm ² /m) ×断面積	有効数字3けたの数値に丸める。
断面積cm ²	幅(mm) ×厚さ(mm) ×1/100	有効数字4けたの数値に丸める。
1枚の質量 kg	単位質量 (kg/m) ×長さ (m)	有効数字3けたの数値に丸める。 ただし、100~999kgは小数第1位に、 1,000kgを越えるものはkgの整数値に に丸める。

5. 設計表示単位

- 1) 設計表示単位は、原則として次に示す表に定める単位により算出するものとする。
- 2) 設計数量が設計表示単位に満たない場合、および工事規模・工事内容等により設計表示単位が不相当と判断される場合は(小規模工事等)有効数値第1位の数量を設計表示単位とする。
- 3) 設計表示単位表に示した以外の項目については、工事規模・工事内容等を勘案して設計表示単位を適正に定めるものとする。
- 4) 設計表示単位への数字の丸め方法は、原則として設計表示単位に切り捨てして求めるものとする。
- 5) 設計表示単位の適用は各細別毎を原則とし工種・種別は1.0式計上を原則とする。
- 6) 契約数量は設計表示単位を原則とする。ただし、工事目的物以外で指定仮設等の数量明示が必要な種目以外は1.0式計上する。
- 7) 設計表示単位に満たない設計変更は原則として契約変更の対象としないものとする。

共通の工種	軽量盛土工	引	種	細	別	単位	数量	備	考
共通の工種	軽量盛土工			軽量盛土		m3	1		
共通の工種				コンクリート床版		m2	1		
共通の工種				基礎コンクリート		m	1		
共通の工種				壁体		m2	1		
共通の工種				裏込砕石		m3	1		
共通の工種	吸出し防止工			吸出し防止材		m2	10	ただし100m2未満は1m2	
共通の工種	泥水処理工			泥水処理		m3	10		
基礎工	既設杭工			既設コンクリート杭		本	1	ただし1本当りは1m	
基礎工				鋼管杭		本	1	ただし1本当りは0.5m	
基礎工				H鋼杭		本	1	ただし1本当りは0.5m	
基礎工				掘削土処理		m3	1	※注1	
基礎工	場所打杭工			場所打杭		本	1	ただし1本当りは0.1m	
基礎工				掘削土処理		m3	1	※注1	
基礎工	合成杭工			合成杭		本	1	ただし1本当りは0.1m	
基礎工				掘削土処理		m3	1	※注1	
基礎工	オープン・コンクリート基礎工			ニューマチッククレーン設備		式	1		
基礎工				刃山金板据付		基	1		
基礎工				掘削土下		m3	10		
基礎工				沈下促進		t	0.1		
基礎工				底版コンクリート		m3	1		
基礎工				中埋コンクリート		m3	1		
基礎工				ブローバイバルブ調整		基	1		
基礎工				申請充填		m3	100	ただし100m3未満は10m3	
基礎工				砂セメント		m3	10	ただし100m3未満は1m3	
基礎工				天端コンクリート戸型枠・支保		m2	10		
基礎工				止水壁取壊し		m3	1		
基礎工	深礎工・シャフト工			巻立コンクリート		m2	1		
基礎工				掘削土留		m	0.1		
基礎工				グラウト注入		m3	1		
基礎工	鋼管汁筒基礎工			鋼管矢板		本	1		
基礎工				井筒内掘削		m3	1	※注1	
基礎工				継手処理		本	1		
基礎工				鋼管内掘削		m3	1	※注1	
基礎工				中詰コンクリート		m3	1		
基礎工				敷砂		m3	10	ただし100m3未満は1m3	
基礎工				底版コンクリート		m3	1		
基礎工				杭切新		本	1		
基礎工				鋼管矢板支保		t	0.1		
基礎工				間詰コンクリート		m3	1		
基礎工				間詰コンクリート撤去		m3	1		
基礎工				頂版接合		t	0.1		

種別	種別	種別	細別	単位	数量	備	考
石・ブロック積(張)	石・ブユック積(張)工	石積(張)・コンクリートブロック基礎		m	1		
石・ブロック積(張)		各種石・ブロック積(張)		m ²	1		
石・ブロック積(張)		ブロッコ植栽		本	1		
石・ブロック積(張)		天端コンクリート		m ³	1		
石・ブロック積(張)		小口止コンクリート		m ³	1		
舗装工	舗装準備工	不陸整工		m ²	10	ただし1000m ² 未満は1m ²	
舗装工	橋面防水工	調整コンクリート		m ²	10	ただし1000m ² 未満は1m ²	
舗装工	舗装工	橋面防水		m ²	10	ただし1000m ² 未満は1m ²	
舗装工		下層路盤		m ²	10	ただし1000m ² 未満は1m ²	
舗装工		上層路盤		m ²	10	ただし1000m ² 未満は1m ²	
舗装工		路盤		m ²	10	ただし1000m ² 未満は1m ²	
舗装工		フェルト層		m ²	10	ただし1000m ² 未満は1m ²	
舗装工		昇層		m ²	10	ただし1000m ² 未満は1m ²	
舗装工		中間層		m ²	10	ただし1000m ² 未満は1m ²	
舗装工		表層		m ²	10	ただし1000m ² 未満は1m ²	
舗装工		セメントミルック浸透		m ²	10	ただし1000m ² 未満は1m ²	
舗装工		アスファルト1回層		m ²	10	ただし1000m ² 未満は1m ²	
舗装工		コンクリート転送		m ²	10	ただし1000m ² 未満は1m ²	
舗装工		転圧コンクリート舗装		m ²	10	ただし1000m ² 未満は1m ²	
舗装工		縦目地		m	1		
舗装工		横目地		m	1		
舗装工		薄写カラー舗装		m ²	10	ただし1000m ² 未満は1m ²	
舗装工		ブロッコ舗装		m ²	10	ただし1000m ² 未満は1m ²	
舗装工		区画線		m	10	ただし100m未満は1m	
舗装工		区画線消去		m	1		
舗装工		路床安定処理		m ²	10	ただし1000m ² 未満は1m ²	
舗装工		表層安定処理		m ²	10		
舗装工		安定シート		m ²	10		
舗装工		表層混合処理		m ²	10		
舗装工		置換		m ³	100	ただし1000m ³ 未満は10m ³	
舗装工		置換工		m ³	100	ただし1000m ³ 未満は10m ³	
舗装工		サンドマット工		m ²	10		
舗装工		サンドマット工		m ²	10		
舗装工		安定シート		m ²	10		
舗装工		既製コンクリート杭		本	1		
舗装工		木杭		本	1		
舗装工		連結鉄筋		t	0.1	ただし1t未満は0.01t	
舗装工		安定シート		m ²	10		
舗装工		サンドマット		m ²	10		
舗装工		サンドドレーン		本	1		
舗装工		袋詰式サンドドレーン		本	1		
舗装工		パーバードレーン		本	1		

種	種	別	細	別	単	位	数	位	備	考
コンクリート構造物			可撓継手		箇	所	1			
構造物	帯状溝造物(小規模)工				個		1		各代アユック(計画m法)H=2.0m未満の帯状溝	
構造物	帯状溝造物(大規模)工				個		0.1		H=2.0m以上の掘壁掘	
構造物	排水構造物工				個		1		ただし径1m以上の管径類は0.1m	
二場製作工	製作工				t		0.1		ただし1t未満は0.01t	
二場製作工	ボルト・ナット				組		1			
二場製作工	スタッドジベ				本		1			
二場製作工	バックアップ				m3		0.1			
二場製作工	充填シール				m3		0.1			
二場製作工	アンカーボルト				組		1			
二場製作工	金風支承				個		1			
二場製作工	大型ボム支承				個		1			
二場製作工	排水柵				個		1			
二場製作工	橋名板				枚		1			
二場製作工	橋歴板				枚		1			
二場製作工	面処理				m2		10		ただし100m2未満は1m2	
二場製作工	塗装(下・中・塗)				m2		10		ただし100m2未満は1m2	
二場製作工	メッキ				t		0.1			
二場製品輸送工	輸送工				t		0.1		ただし1t未満は0.01t	
二場製品輸送工	縁石工				t		0.1		ただし1t未満は0.01t	
付属施設			歩車道境界ブロック		m		1			
付属施設			地先境界ブロック		m		1			
付属施設			植替ブロック		m		1			
付属施設			アスカーブ		m		10			
付属施設	集水柵・街渠柵・マンホール工				箇所		1		(プレキヤスト含む)	
付属施設			街渠柵		箇所		1		(プレキヤスト含む)	
付属施設			マンホール		箇所		1			
付属施設			蓋		枚		1			
付属施設			ガードレール		m		1			
付属施設			ガードパイプ		m		1			
付属施設			ガードケーブル		m		1			
付属施設			ボックスビーム		m		1			
付属施設			立入防止柵		m		1			
付属施設			転落(横柵)防止柵		m		1			
付属施設			車止めポスト		本		1			
付属施設			現場打階段		m2		1			
付属施設			プレキヤスト階段		m2		1			
付属施設			境界杭		本		1			
付属施設			境界鉄		枚		1			
付属施設			境界(法留)壁		m		1			
付属施設			落石防護柵工		m		1			

種	別	種	別	細	別	単	位	数	位	備	考
付属施設				ロープ・金網		m		1			
付属施設				支柱		本		1			
付属施設				スチーロープ		本		1			
付属施設				防雪柵		m		1			
付属施設				雪崩予防柵基礎		基		1			
付属施設				雪崩予防柵		本		1			
付属施設				雪崩予防柵アンカー		本		1			
付属施設				ネット		m ²		10		ただし100m ² 未満は1m ²	
付属施設				繊維網		m ²		10		ただし100m ² 未満は1m ²	
付属施設				支柱アンカーポスト		箇所		1			
付属施設				遮音壁		m		1			
付属施設				外装板		m ²		1			
付属施設				クーブル配管		m		1			
付属施設				ハンドホール		箇所		1			
付属施設				視線誘導標		本		1			
付属施設				車線分離標		本		1			
付属施設				距離標		本		1			
付属施設				道路標		個		1			
付属施設				縦目地		m		1			
付属施設				横目地		m		1			
付属施設				ゴム支承		m ²		1			
付属施設				アンカーポスト		本		1			
付属施設				照明柱基礎		基		1			
付属施設				照明柱		基		1			
付属施設				銘板		枚		1			
付属施設				表示板		枚		1			
付属施設				標識柱		基		1			
付属施設				標識板		枚		1			
付属施設				標識基礎		基		1			
付属施設				片持標識柱		基		1			
付属施設				円形標識柱		基		1			
付属施設				標識板		枚		1			
付属施設				岩雪防止板		枚		1			
付属施設				植樹帯盛土		m ³		1		※注1	
付属施設				植樹		本		1			
付属施設				地被糸植付		m ²		1			
付属施設				支柱		箇所		1			
付属施設				樹名板		枚		1			
付属施設				アンカー		本		1			
付属施設				アンカー		本		1			
付属施設				アンカー足場		空m ³		10			

種	別	細	引	単位	数量	備	号
付属施設			PCフレーム	枚	1		
付属施設			鉄筋挿入	本	1		
付属施設	点検施設工		梯子	箇所	1		
付属施設			ステップ	本	1		
付属施設			蓋	枚	1		
付属施設	グラウトホールド工		グラウトホールド	箇所	1		
付属施設	観測施設工		量水標	箇所	1		
付属施設			水位計	箇所	1		
付属施設			流量計	箇所	1		
付属施設	燃料貯油槽工		充填砂	m3	10		
河川構築物	土台基礎工		土台	π	1		
河川構築物	管コンクリート工		管コンクリート	π	1		
河川構築物			管コンクリート	π	1		
河川構築物	護岸付属物工		横帯コンクリート	π	0.1		
河川構築物			小口止	π	0.1		
河川構築物			小口止矢板	枚	1		
河川構築物			縦帯コンクリート	π	1		
河川構築物			巻上コンクリート	π	1		
河川構築物			平張コンクリート	m2	1		
河川構築物	多自然型護岸工		木杭	本	1		
河川構築物			巨石岩(積)	m2	1		
河川構築物			巨石橋石	m2	1		
河川構築物			縦割石張	m2	1		
河川構築物			かごマット	m2	1		
河川構築物			柳枝	m2	1		
河川構築物			木石階段	m2	1		
河川構築物			杭冊	π	1		
河川構築物			運柴冊	π	1		
河川構築物			粗葉法覆	m2	1		
河川構築物			玉石柳枝	m2	1		
河川構築物			栗石粗朶	m2	1		
河川構築物	覆土二		覆土	m3	1	※注1	
河川構築物	面話二		面話	m3	1		
河川構築物			面話	m3	1		
河川構築物			沈床	m2	1		
河川構築物			沈床	m2	1		
河川構築物			粗朶単床	m2	1		
河川構築物			粗朶冊	π	1		
河川構築物			捨石	m3	1		
河川構築物			表面均し	m2	1(1)		
河川構築物	元付二		元付	箇所	1		
河川構築物	牛・粹工		牛	組	1		

種	種別	種別	約	別	単位	数	位	備	考
河川構造物				枠	組	1			
河川構造物	杭出し水制工			杭出し水制	基	1			
河川構造物	基礎工			貝塚打基礎	m	1			
河川構造物				プレキャスト基礎	m	1			
河川構造物	根固めブロック工			根固めブロック製作	個	1			
河川構造物				根固めブロック組付	個	1			
河川構造物				透磊玉石	袋	1			
河川構造物	ブロック床版工			場所打ブロック	m ²	1			
河川構造物	涵渠工			RC涵渠	m	0.1			
河川構造物				可撓継手	箇所	1			
河川構造物				取替式止水板	箇所	1			
河川構造物				陶製連続	箇所	1			
河川構造物	側壁工			景込石	m ³	1			
砂防	コンクリート・鋼製堰堤本体・取巻工			埋設コンクリート	m ³	1			
砂防				水抜暗渠	m	0.1			
砂防				鋼製枠	し	0.1			
砂防				枠内中詰	m ³	1			
砂防				足場	m	1			
砂防				隔壁コンクリート基礎	m ³	1			
砂防				均しコンクリート	m ²	10		ただし100m ² 未満は1m ²	
砂防				残存枠	m ²	10		ただし100m ² 未満は1m ²	
砂防	鋼製砂防工			組立・組付	t	1			
砂防				石締め	本	1			
砂防				アーカー	本	1			
砂防				現場塗装	m ²	1			
砂防	コンクリート側壁工			均しコンクリート	m ²	10		ただし100m ² 未満は1m ²	
砂防				水抜暗渠	m	0.1			
砂防	集排水ボーリング工			ボーリング	m	0.1			
砂防				ボーリング洗浄	m	0.1			
砂防				保水管	m	1			
砂防				ボーリング仮設機材	式	1			
砂防	集水井工			集水井掘削	m	1			
砂防				井戸中詰	m ³	1			
砂防				プレキャスト井筒	m	1			
砂防				固定基礎コンクリート	m	1			
砂防				底張コンクリート	m ³	1			
砂防				井戸蓋	枚	1			
海岸	埋設コンクリート(根固・非鉄)ブロック工			埋設コンクリート(根固・非鉄)ブロック	個	1			
海岸				埋設コンクリート(根固・非鉄)ブロック	個	1			
海岸	護岸工			景込(種)石	m ³	1			
海岸				石牙	m ³	1			

種別	種別	細別	単位	数量	備	考
海岸	コンクリート被覆工	コンクリート	m2	10	ただし1000m2未満は10m3	
海岸	捨石工	口詰石	m3	1		
海岸		捨石	m3	1		
海岸		捨石均し	m2	10		
海岸		表面均し	m2	10		
海岸	被覆石工	被覆石据付	m3	1		
海岸		被覆石均し	m2	10		
海岸	被覆ブロック工	被覆ブロック据付	個	1		
海岸	矢板工	鋼矢板防食	m2	1		
海岸	詰杭工	既製コンクリート杭	本	1		
海岸		コンクリートパネル	枚	1		
海岸		口詰石	m3	1		
海岸		表面均し	m2	10		
海岸	石枠工	コンクリート枠製作	個	1		
海岸		コンクリート枠据付	個	1		
海岸		口詰石	m3	1		
海岸		捨石均し	m2	10		
海岸	ケーソン・セルラー工	ケーソン等運搬・据付	個	1		
海岸		口詰砂・石	m3	1		
海岸		表面均し	m2	10		
浚渫工	浚渫船運転工(ポンプ浚渫船)	浚渫船運転	m3	100	ただし1000m3未満は10m3	
浚渫工		排砂管(設備)	本	1		
浚渫工		浚渫船等機械管理費	日	1		
浚渫工		排砂管保守	日	1		
浚渫工	作業船及び機械運転工(ポンプ浚渫船)	口継ポンプ運転	台	1		
浚渫工		揚船船運転	日	1		
浚渫工		交通船運転	日	1		
浚渫工		警戒船運転	日	1		
浚渫工	浚渫船運転工(クレーン浚渫船)	浚渫船運転	m3	100	ただし1000m3未満は10m3	
浚渫工		浚渫船等機械管理費	日	1		
浚渫工	作業船及び機械運転工(クレーン浚渫船)	揚船船運転	日	1		
浚渫工		交通船運転	日	1		
浚渫工		上運搬船運転	日	1		
浚渫工		曳船運転	日	1		
浚渫工		警戒船運転	日	1		
浚渫工	バックホウ浚渫船	バックホウ浚渫船運転	m3	100	ただし1000m3未満は10m3	
浚渫工		警戒船運転	日	1		
浚渫工		上運搬船運転	日	1		
浚渫工		浚渫土揚土	日	1		
浚渫工	掘土工	掘土	日	1		
浚渫工	浚渫土処理工	浚渫土処理	m3	10		

種	別	種	別	組	別	単位	数量	備	考
鋼橋上部工		地組工		地組		t	0.1	ただし1t未満は0.01t	
鋼橋上部工		床版工		床版架設		m ²	1		
鋼橋上部工		架設工		各種設備・基礎		式	1		
鋼橋上部工				桁架設		t	0.1	ただし1t未満は0.01t	
鋼橋上部工		現場継手工		本締めボルト		本	1		
鋼橋上部工		支承工		金風支承設置		個	1		
鋼橋上部工				大型ゴム文芯設置		個	1		
鋼橋上部工		伸縮装置工		ゴム製伸縮装置		π	0.1		
鋼橋上部工				鋼製伸縮装置		t	0.1		
鋼橋上部工		落橋防止装置工		埋設ジョイント		箇所	1		
鋼橋上部工		排水装置工		落橋防止装置		箇所	1		
鋼橋上部工				排水柵		箇所	1		
鋼橋上部工				排水管		π	1		
鋼橋上部工		地覆工		場打地覆		π	1		
鋼橋上部工				ブレイクヤスト地覆		π	1		
鋼橋上部工		橋梁用防護柵工		橋梁用防護柵		π	1		
鋼橋上部工		橋梁川高欄工		橋梁川高欄		π	1		
鋼橋上部工		検査路工		検査路		t	0.1		
鋼橋上部工		銘板工		橋名板		枚	1		
鋼橋上部工				橋柵板		枚	1		
歩道橋本体工		橋脚ブチング工		アンカープレーム架設		基	1		
歩道橋本体工				アンカープレーム注入コンクリート		t	0.1		
歩道橋本体工		歩道橋架設工		歩道橋架設		m ²	10	ただし1000m ² 未満は1m ²	
歩道橋本体工				橋面舗装		π	1		
歩道橋本体工				手摺		橋	1		
歩道橋本体工				高欄		橋	1		
歩道橋本体工				足場		m ²	10		
歩道橋本体工				防護		m ²	10		
鋼橋足場等設置工		橋梁足場工		架設足場		m ²	10		
鋼橋足場等設置工				床版足場		m ²	10		
鋼橋足場等設置工				養装足場		m ²	10		
鋼橋足場等設置工				側面養装足場		m ²	10		
鋼橋足場等設置工				支保設置用足場		π	1		
鋼橋足場等設置工				吸限防護		m ²	10		
鋼橋足場等設置工				シート張防護		m ²	10		
鋼橋足場等設置工				ワイヤーブランチ防護		m ²	10		
鋼橋足場等設置工				登り桟橋		箇所	1		
鋼橋足場等設置工				工事用コンベーター		基	1		
コンクリート橋上部二		桁製作工・床版・横組工		アレグレンション桁製作		本	1		
コンクリート橋上部二				ボラストアレグレンション桁製作		本	1		
コンクリート橋上部三				ブレイクヤストセグメント製作		本	1		

種	別	細	別	単位	数	位	備	考
コンクリー	橋上部工		プレキャストセグメント主桁組立	本	1			
コンクリー	橋上部工		プレキャスト主桁製作	本	1			
コンクリー	橋上部工		機械器具損料	式	1			
コンクリー	橋上部工		PCケーブル	π	1			
コンクリー	橋上部工		PCケーブル	π	0, 1		ただし1π未満は0.01π	
コンクリー	橋上部工		PCケーブル・緊張	ケーブル	1			
コンクリー	橋上部工		緊張	ケーブル	1			
コンクリー	橋上部工		PC鋼棒	π	1			
コンクリー	橋上部工		PC緊張	箇所	1			
コンクリー	橋上部工		PC固定	箇所	1			
コンクリー	橋上部工		PC継手	箇所	1			
コンクリー	橋上部工		横締めケーブル	π	1			
コンクリー	橋上部工		鉛直締めケーブル	π	1			
コンクリー	橋上部工		横締め緊張	箇所	1			
コンクリー	橋上部工		鉛直締め緊張	箇所	1			
コンクリー	橋上部工		取付荷締め解放	回	1			
コンクリー	橋上部工		プレフレクション	回	1			
コンクリー	橋上部工		リリース	回	1			
コンクリー	橋上部工		主桁解体	主桁本	1			
コンクリー	橋上部工		桁組立	主桁本	1			
コンクリー	橋上部工		横桁取付	箇所	1			
コンクリー	橋上部工		部分プレストレス	径回	1			
コンクリー	橋上部工		移動型枠	m2	1			
コンクリー	橋上部工		円管型枠	π	1			
コンクリー	橋上部工		主桁製作設備	式	1			
コンクリー	橋上部工		桁小車庫	本	1			
コンクリー	橋上部工		桁架設	本	1			
コンクリー	橋上部工		注頭部仮支承	m2	1			
コンクリー	橋上部工		桁架設(片持架設)	基	1			
コンクリー	橋上部工		ベント基礎	式	1			
コンクリー	橋上部工		押出装置	基	1			
コンクリー	橋上部工		滑り装置	基	1			
コンクリー	橋上部工		手延べ桁	基	1			
コンクリー	橋上部工		桁架設(押出架設)	回	1			
コンクリー	橋上部工		落橋防止装置	組	1			
コンクリー	橋上部工		支保工基礎	m2	1			
コンクリー	橋上部工		支保	πm3	10			
コンクリー	橋上部工		支保	個	1			
コンクリー	橋上部工		鋼管支保	個	1			
コンクリー	橋上部工		金属支保設置	組	1			
コンクリー	橋上部工		変位制限装置	組	1			
コンクリー	橋上部工		ジョイントフロテクター	組	1			

種	種別	種別	単位	数量	備	考
トンネル (NAIM)	掘削補助工B	穴抜きボーリング	本	1		
トンネル (NAIM)		益直縫地	本	1		
トンネル (NAIM)		パイプルーフ	本	1		
トンネル (NAIM)		押え蓋上	m3	100	ただし1000m3未満は10m3	
トンネル (NAIM)		薬液注入	m3	10		
トンネル (NAIM)		ゲイブッシュメント	日	1		
トンネル (NAIM)		ウェルポイント	口	1		
トンネル (NAIM)		トンネル仮巻きコンクリート	m	1		
トンネル (穴板)	掘削工	掘削	m	0.1		
トンネル (穴板)	又保工	鋼製支保	基	1		
トンネル (穴板)	覆工	覆上コンクリート	m	0.1		
トンネル (穴板)		上水坂	m	1		
トンネル (穴板)		床版コンクリート	m	1		
トンネル (穴板)		真込注入	m3	1		
トンネル (穴板)	インバート工	掘削	m	0.1		
トンネル (穴板)		インバート	m	0.1		
トンネル (穴板)	坑内付帯坑	筒抜	箇所	1		
トンネル (穴板)		農圃排水	m	1		
トンネル (穴板)		排水処理	箇所	1		
トンネル (穴板)		戸穴排水	m	1		
トンネル (穴板)		横断排水	箇所	1		
トンネル (穴板)		臭水俣	箇所	1		
共同溝	掘削工	掘削	m3	1	※注1	
共同溝	埋戻し工	埋戻し	m3	1	※注1	
共同溝	厚場打礎築工	防水	m2	10	ただし100m2未満は1m2	
共同溝		防水保護	m2	10	ただし100m2未満は1m2	
共同溝		防水壁	箇所	1		
共同溝		目地材	m2	1		
共同溝		上水坂	m	1		
共同溝		プレキャスト躯体	個	1		
共同溝		PC鋼材	m	1		
共同溝		縦・横締め緊張	箇所	1		
共同溝		可とう継手	箇所	1		
共同溝		コーキング	m	1		
共同溝		シール	m	1		
共同溝	付帯設備工	グレーチング	組	1		
共同溝		蓋	組	1		
共同溝		排水管	m	1		
共同溝		ルーフトレーン	個	1		
共同溝		換気防護柵	箇所	1		
共同溝		梯子	本	1		

種	別	細	別	単位	数	位	備	考
共同溝		スワッフ		本	1			
共同溝		タラップ		本	1			
共同溝		手すり		m	1			
共同溝		銘板		枚	1			
管線共可溝	掘削工	掘削		m3	1		※注1	
管線共可溝	埋戻し工	埋戻し		m3	1		※注1	
管線共可溝	電線共可溝工	管溝		m	1			
管線共可溝		プレキャストボックス		個	1			
管線共可溝		蓋		個	1			
管線共可溝	付帯設備工	ハンドホール		箇所	1			
植栽維持工	樹木・芝生管理工	樹木せんぷ		本	1			
植栽維持工		草むしり		m2	10			
植栽維持工		補植		本	1			
植栽維持工		移植		本	1			
植栽維持工		支柱		本	1			
植栽維持工		抜き除草		m2	10			
植栽維持工		樹木施肥		本	1			
植栽維持工		草むしり・芝施肥		m2	10			
植栽維持工		灌水		m2	10			
植栽維持工		防除		本	1			
植栽維持工		草むしり・芝葉散布		m2	10			
植栽維持工		刈刈		m2	100		※注3	
河川維持	河川監視工	緊急監視		回	1			
河川維持	堤防除草工	除草		m2	100		※注3	
河川維持	芝養生工	施肥		m2	100		※注3	
河川維持		枝刈		m2	100		※注3	
河川維持	伐木除根	伐木除根		m2	100		※注3	
河川維持	塵芥処理工	散在塵芥収集		m2	100		※注3	
河川維持		堆積塵芥収集		m3	10		ただし、100m3未満は1m3	
河川維持	水回清掃工	水回清掃		日	1			
河川維持	応急処理作業	応急作業		日	1			
道路修繕	路面切削工	路面切削		m2	10		ただし1000m2未満は1m2	
道路修繕	舗装打換え工	舗装板切削		m	10		ただし100m未満は1m	
道路修繕		舗装破砕		m2	10		ただし1000m2未満は1m2	
道路修繕	切削オーバーレイ工	切削オーバーレイ		m2	10		ただし1000m2未満は1m2	
道路修繕	舗装打換え工・オーバーレイ工	中間層		m2	10		ただし1000m2未満は1m2	
道路修繕		路上再生路盤		m2	10		ただし1000m2未満は1m2	
道路修繕		路上表層再生		m2	10		ただし1000m2未満は1m2	
道路修繕	床版補強工（鋼板接合・増桁架設工法）	鋼板接合		m2	1			
道路修繕		クランク処理		m	1			
道路修繕		足場		m2	10			

種 別	種 別	細 別	単 位	数 位	備 考
道路修繕		防護	m ²	10	
道路修繕		増桁架設	t	0.1	ただし1t未満は0.01t
道路修繕		表土荒らし	m ²	1	
道路修繕		コンクリートPC床版取替	m ²	1	
道路修繕		鋼製高欄取替	m	1	
道路修繕		床版追設処理	m ³	1	
道路修繕		鋼桁補強工	m	1	
道路修繕		伸縮継手工	m	0.1	
道路修繕		埋設ジョイント補修	m	0.1	
道路修繕		支保取替	基	1	
道路修繕		検査路	t	0.1	
道路修繕		テッドング	m ²	1	ただし10m ² 未満は0.1m ²
道路修繕		削孔	孔	1	
道路修繕		アンカーボルト挿入	本	1	
道路修繕		鋼製管座設置	箇所	1	
道路修繕		排水柵	箇所	1	
道路修繕		排水管	m	1	
道路修繕		高欄・手摺	t	0.1	
道路修繕		側版	t	0.1	
道路修繕		ノンスリップ	m	1	
道路修繕		鋼板巻立て	m ²	1	
道路修繕		現場溶接	m	1	
道路修繕		フーチングアンカー	箇所	1	
道路修繕		根巻コンクリート	m ³	1	
道路修繕		コンクリート削孔	箇所	1	
道路修繕		コンクリート巻立て	m ³	1	
道路修繕		下掛処理	m ²	1	
道路修繕		森林調査	m ²	10	ただし100m ² 未満は1m ²
道路修繕		塗薬(下・中・上塗)	m ²	10	ただし100m ² 未満は1m ²
道路修繕		張網防止塗装	m ²	10	ただし100m ² 未満は1m ²
道路修繕		コンクリート面清掃	m ²	1	
道路修繕		内装板	m ²	1	
道路修繕		裏込注入	m ³	1	
道路修繕		面排水	m ²	1	
道路修繕		線排水	m	1	
道路修繕		通常巡回	回	1	
道路修繕		緊急巡回	回	1	
道路修繕		アスファルト注入	t	0.1	ただし1t未満は0.01t
道路修繕		舗装版目地補修	m	1	
道路修繕		クラック処理	m	1	
道路修繕		わだちぬれ補修	m ²	1	
道路修繕		アスファルト舗装修繕工			

種	別	細	別	単位	数値	備	考
道路維持		ハッチング		l	0.1		
道路維持	付属物復旧工	ガードレール復旧		口	1		
道路維持		ガードケーブル復旧		口	1		
道路維持		ガードパイプ復旧		m	1		
道路維持		転落(横断)防止柵復旧		口	1		
道路維持		路側標識復旧		基	1		
道路維持		標識板復旧		枚	1		
道路維持		視線誘導標復旧		本	1		
道路維持		距離標復旧		本	1		
道路維持		張紙防止シート復旧		m ²	1		
道路維持	路面清掃工	路面清掃(機械)		km	0.1		
道路維持		路面清掃(路肩部・人力)		km	0.1		
道路維持		路面清掃(歩道・人力)		m ²	1		
道路維持		路面清掃(歩道橋・地下道・人力)		m ²	1		
道路維持		路面清掃(中央分離帯・人力)		m ²	1		
道路維持	路肩整正	路肩整正(機械)		km	0.1		
道路維持		路肩整正(人力)		m ²	100	※注3	
道路維持	排水施設清掃工	側溝清掃(人力)		m	10		
道路維持		側溝清掃(機械)		km	0.01		
道路維持		管渠清掃		口	10		
道路維持		柵清掃		箇所	1		
道路維持	橋梁清掃工	伸縮継手清掃		口	1		
道路維持		排水管清掃		口	10		
道路維持	道路付属物清掃工	ガードレール清掃		km	0.1		
道路維持		ガードパイプ清掃		口	1		
道路維持		標識清掃		枚	1		
道路維持		トンネル照明器具清掃(機械)		km	0.1		
道路維持		トンネル照明器具清掃(人力)		灯	1		
道路維持		視線誘導標清掃		本	1		
道路維持		トンネル壁面清掃		m ²	1		
道路維持	道路除草工	除草		m ²	100	※注3	
道路維持	応急処理工	応急作業		日	1		
道路維持	冬季安全施設工	スノーポール設置・撤去		本	1		
道路維持		防雪柵		口	1		
道路維持		落石(入り出し)防護柵		口	1		
道路維持		防雪柵現地張出・収納		口	1		
雪害	一般・運搬・歩道除雪	各種		時間	1		
雪害	凍結防止工	各種		時間	1		
雪害		凍結防止剤		t	1		
雪害		凍結防止剤		ℓ	1		
雪害	安全処理工	雪眼庇処理		時間	1		

種 別	種 別	細 別	単 位	数 位	備 考
雪寒		つらら処理	時間	-	
雪寒		人工雪崩	式	-	
雪寒	雪道巡回工	巡回	回	-	
雪寒	付機補償費	役員・連絡員	時間	-	
雪寒		付機補償費	式	-	
雪寒	保険費	除雪保険	台	-	
雪寒	除雪機械修理工	除雪機械修理	式	-	
電気通信		ケーブル	m	10	ただし1000m未満は1m
電気通信		電線	m	10	ただし1000m未満は1m
電気通信		電線管	m	10	ただし1000m未満は1m
機械		鋼材類	t	0.01	ただし1t未満は0.001t

※注1：ただし、有効数字3桁で単位止めとする。土砂10万m³以上は、100m³単位、岩類1万m³以上は、10m³単位とする。10m³単位以上は、10m³単位とすることができる。

※注2：ただし、100m²以上は10m²単位とすることができる。

※注3：ただし、1万m²未満は10m²。

工種	種別	細別	単位	数値	備考
下水道		路線延長	m	0.01	代価表:0.01
下水道		管渠延長	m	0.01	代価表:0.01
下水道		取付管延長	m	0.1	代価表:0.1
下水道	管布設工	ヒューム管	本	1	※注1
下水道		塩ビ管	本	0.1	代価表:0.1
下水道	土留工		m	0.1	代価表:0.1
下水道	管路土工	土工(本管)	m ³	—	代価表:1
下水道		土工(取付管)	m ³	1	代価表:0.01
下水道		土工(識験掘)	m ³	1	代価表:0.1
下水道		土工(その他)	m ³	1	代価表:0.1
下水道	水替工		日	1	代価表:1 ※注1
下水道	舗装撤去工	カッター切断工	m	0.1	代価表:0.1
下水道	管布設工	下水道管標示テープ巻工	箇所	1	
下水道		〃	m	0.1	
下水道		下水道管標示テープ	巻	1	※注1
下水道		下水道管標示シート工	m	0.01	
下水道		下水道管標示シート	m	0.01	
下水道		ボーリング長	m	0.01	代価表:0.01
下水道	舗装復旧工	舗装工	m ²	0.1	代価表:0.01
下水道	舗装撤去工	舗装版破碎工	m ²	0.1	代価表:0.1
下水道	コンクリート工		m ³	0.1	代価表:0.01
下水道	モルタル工		m ³	—	代価表:0.01
下水道	鉄筋工		kg	1	代価表:1
下水道	型枠工		m ²	0.1	代価表:0.01
下水道	栗石工		m ³	1	代価表:0.01
下水道	足場工		m ²	1	代価表:1
下水道	型枠支保工		m ³	1	代価表:1
下水道		コンクリート取り壊し	m ³	1	代価表:0.1
下水道		鋼材重量	t	0.01	代価表:0.01
下水道		損料日数	日	1	
下水道		損料月数	月	1	
下水道		電力契約月数	月	1	※注1
下水道		覆工板損料	月	1	※注1

※注1:ただし、切り上げ

ただし、工種:下水道については下記とする。

- ・路線延長は、5cm単位でまとめること。
- ・下水道に関して、上記表に規定がないものについては、原則として切捨てとすること。
- ・軽微な工事等、数量が少ない場合は、別途考慮できるものとする。

VI. 技術者等の経験年数等について(参考)

※設計 第 1107・1108 条関係

職 階	大学卒	短大・高専卒	高校卒
管理技術者	18年以上	23年以上	28年以上
照査技術者	18年以上	23年以上	28年以上

技術士又はRCCM資格を有するもののほか、上記の経験年数をもって「同等の能力と経験を有する技術者」と判断してよい。

Ⅶ. 下水道設計有資格者一覧表

※設計 第1107・1108条関係

下水道法施行令 第15条	区 分		要 件		(注1) 資格取得に必要な実務経験年数		
	卒業又は修了した学校等	卒業又は修了した学科等	履修した学科目等	(注2) 計画設計	(注3) 監督管理等		
					処理施設 ポンプ施設	排水施設	
第1号	新制大学	土木工学科、衛生工学科又はこれらに相当する課程	下水道工学	5 (2.5)	2 (1)	1 (0.5)	
	旧制大学	土木工学科又はこれに相当する課程	—				
第2号	新制大学	土木工学科、衛生工学科又はこれらに相当する課程	下水道工学に関する学科目以外の学科目	6 (3)	3 (1.5)	1.5 (1)	
第3号	短期大学 高等専門学校 旧制専門学校	土木科又はこれに相当する課程	—	8 (4)	5 (2.5)	2.5 (1.5)	
第4号	新制高等学校 旧制中等学校	土木科又はこれに相当する課程	—	10 (5)	7 (3.5)	3.5 (2)	
第5号	日本下水道事業団法施行令第4条第1項に定める技術検定	第1種検定合格		3 (0.5)	2 (0.5)	1 (—)	
第6号	日本下水道事業団法施行令第4条第1項に定める技術検定	第2種検定合格		—	2 (0.5)	1 (—)	
第7号	建設業法による本試験	土木施工管理に係る一級の第二次検定に合格した者		0			
第8号	技術士法による本試験	科目として下水道を選択し上下水道部門に合格した者		0			
第9号	前各号に定める区分以外の者	—		—	10 (5)	5 (2.5)	
第10号	新制大学の大学院	5年以上在学(卒業)	下水道工学	4 (2)	0.5 (0.5)	0.5 (0.5)	
	新制大学の大学院又は専攻科 旧制大学の大学院又は研究科	1年以上在学	下水道工学	6 (3)	1 (0.5)	0.5 (0.5)	
	短期大学の専攻科	1年以上在学	下水道工学	9 (4.5)	4 (2)	2 (1)	
	国土建設学院	上下水道工学科	—	10 (5)	5 (2.5)	2.5 (1.5)	
	外国の学校		日本の学校による学歴、経験年数に準ずる。				
	指定講習受講	国土交通省国土交通大学校	専門課程下水道研修		—	5 (2.5)	2.5 (1.5)
		社団法人日本下水道協会	下水道監督管理等資格者講習会		—	5 (2.5)	2.5 (1.5)
日本下水道事業団		下水道の設計又は工事の監督管理資格者講習会		—	5 (2.5)	2.5 (1.5)	

注1)この欄における経験年数は下水道、上水道、工業用水道、河川、道路その他国土交通大臣が定める施設に関する技術上の実務に従事した経験年数をいい、()内に掲げる年数以上下水道に関する技術上の実務に従事した経験を有する者に限る。

注2)「計画設計」とは、事業計画に定めるべき事項に関する基本的な設計をいう。

注3)「監督管理等」とは、実施設計(計画設計に基づく具体的な設計)又は工事の監督管理(その者の責任において工事を設計図書と照合し、それが設計図書のとおり実施されているかどうかを確認すること。)をいう。

(参考)法的根拠 : 下水道法第22条、同法施行令第15条、建設省告示第1706号(昭和46年10月9日)

Ⅷ. 港湾及び港湾海岸に係る技術者資格表測量

※設計 第 1107・1108 条関係

受注者は、港湾及び港湾海岸に係る設計・測量・調査等業務については、下表を適用する。

資格内容	深浅測量		探査工	土質調査	環境調査	気象海象調査	計画調査	環境影響評価調査	設計	技術開発	電算プログラム開発	維持管理計画調査	備考
	深浅測量	水路測量											
港湾海洋調査士													但し、「環境調査」部門は環境調査の騒音審査、振動調査、悪臭調査を除く
「深浅測量」部門	●												
「危険物探査」部門			●										
「土質・地質調査」部門				●									
「環境調査」部門					●								
「気象・海象調査」部門						●							
ビルコンサルティング マネージャー													但し、港湾関係の実務経験が3年以上ある者
「土質及び基礎」部門				●									
「地質」部門				●									
「建設環境」部門					●			●					
「港湾及び空港」部門	●	●	●	●	●		●	●	●	●		●	
水路測量技術													
「1級（沿岸）」	●	●											
「1級（港湾）」	●	●											
地質調査技士				●									但し、港湾関係の実務経験が大卒者は5年以上、高卒者は8年以上ある者
基本情報技術者											●		
海洋・港湾構造物維持管理士									●			●	但し、設計は維持管理に関する業務に限る
海洋・港湾構造物設計士									●	●		●	但し、技術開発は設計に関する業務に限る

※下線は、国土交通省登録技術者資格（資格が対象とする区分は「公共工事に関する調査及び設計等の品質管理に資する技術者資格登録簿」による。）

IX. 身分証明書交付願及び身分証明書様式(参考)

※設計 第 1116条、測量 第 118条、調査 第 116条関係

身分証明書交付願

令和 年 月 日

北九州市長 様

受注者 住所
商号又は名称
代表者
電話番号
管理技術者

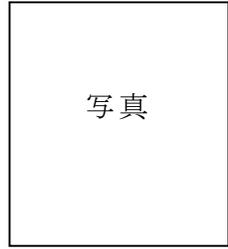
令和 年 月 日付で契約締結した下記業務の履行に伴い、第三者の土地への立入りが必要となるため、別紙のとおり身分証明書の交付をお願いします。

記

1. 業 務 名
2. 作業従事期間
3. 作業内容
4. 作業従事者

氏 名	生年月日	住 所

身 分 証 明 書



受注者 住所
 名称
 従事者名

上記の者は、土木設計業務等委託契約書に基づき、下記業務の現地踏査を行う者であることを証明する。

委託業務名

有効期間 (自) 令和 年 月 日

(至) 令和 年 月 日

発行日 令和 年 月 日発行

発行者

北九州市長

○ ○ ○ ○ 印

(表)

1. 本証は、印、日付のないものは無効とする。
2. 有効期間を経過したときは、又は契約が解除されたとき等不要になった時は10日以内（休日等除く）に返還すること。
3. 氏名等に変更があったときは、すみやかに記載事項の変更を受けること。
4. 本証は、他人に貸与し、又は譲渡してはならない。

(裏)